



宮崎の青空に映える白をメインカラーに、アールを描く外構と一体化させた外観。内部に広がる開放感との対比を出すため、エントランスは船を模した丸窓以外はあえて閉じたデザインにした。

構造計算により設計自由度が拡大

## ウォーターフロントの眺めを楽しむ 大開口のある貸しコテージ

宮崎県有数の景勝地であり、県外からも人気のサーフエリアに近い青島に、ツーバイフォー工法によるリゾート感あふれる宿泊施設が誕生しました。東京で会社勤めをしていた有名サーファーのオーナーがUターンして地元で貢献したいと計画した一棟貸しのコテージです。

漁港近くの河口に面し、海と停泊する船を眺められるロケーションを生かすために、建物のコンセプトは「只、心地よい空間」にすることでした。東西に長いひとつながりの屋根の下に大きなデッキテラスを設けて半戶外空間をつくり、その両側に客室2室を配した平面構成となっています。「玄関ドアを開けた瞬間、LDKからデッキへ、そして目の前の河口から海へと広がる景色を印象的にするために、耐力壁区画を斜めに切り取り、大開口を設けました。構造計算により規定以上の大きさの開口部を安全に設けら

れたので、ツーバイフォーの設計の自由度の可能性を大きく感じました」と設計者は話します。

海に近い立地のため、耐震性と耐火性に加え、台風にも強い建物として構造計画が行われました。建設中には震度6弱の地震や大型台風に見舞われましたが、建物は無被害で済みました。また、内部空間の開放性と快適性を両立させるために屋根断熱が採用されましたが、想定される夏場の熱ごもりや小屋裏内結露への対策として、付加的に屋根に遮熱シートが施工されました。「さすがに夏の暑さは心配だったのですが、この遮熱の効果には本当に驚きました。窓が大きいですが、デッキの上にこの屋根があるおかげで日射熱が遮られ、とても快適なのです。多くの方にぜひこの心地よさを体感していただきたいですね」とオーナーは微笑みます。



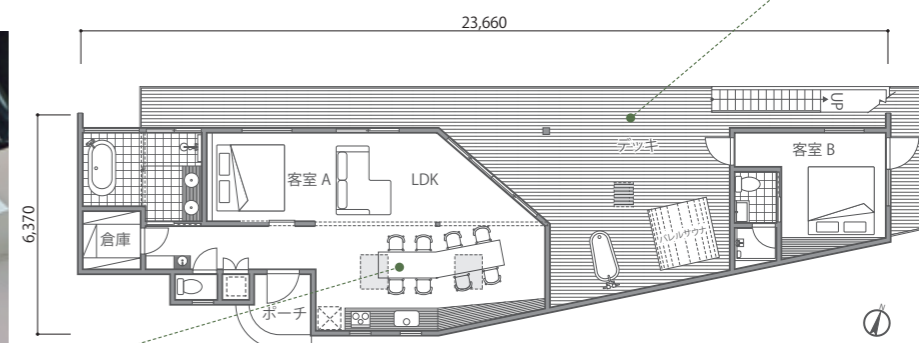
北側外観。モダンでありながら近隣の海や山の景観になじむように設計された。折生迫(おりゅうご)漁港に向かって開く構成で、外壁と一体化した塀が外からの視線を適度に遮っている。向かって左手に見える階段は屋上テラスに至る。屋根に並ぶ3つの凸部はトップライト。



①夜間のアプローチ。モルタル樹脂の下地と通気性と撥水性の高いシリコン系塗料のローラー仕上げにより、漆喰のような風合いと、防カビ・防藻対策を両立。ライトアップされた白亜の壁がリゾート地の雰囲気をつくり出している。②約35㎡のLDK。空間を圧迫しないように高さを抑えた造作キッチンが設けられている。③約12.5㎡の東側の個室。大きな窓を海側に配置。④突浪川から海へと広がる穏やかな水辺のパノラマ景が目の前に広がるデッキテラス。バレルサウナもあり、リラックスできる空間。



玄関を入った正面にある窓から海側の景色がとりこまれる。トップライトからも明るい光が降り注ぐ。



### DATA - Costa del Sol AOSHIMA (コスタ・デル・ソル青島)

所在地: 宮崎県宮崎市  
用途: 宿泊施設(旅館業簡易宿泊所)  
構造: 枠組壁工法 [準耐火建築物]  
階数: 平屋建て  
敷地面積: 335.78㎡  
建築面積: 130.16㎡  
延床面積: 114.06㎡  
設計・施工: [株式会社 建図宮崎](#)

構造設計: [さとみ設計室](#)  
建方工事: [株式会社 建図宮崎](#)  
[株式会社 マキ木材商会](#)  
構造材供給: [株式会社 マキ木材商会](#)  
工期: 2024年4月～2025年8月  
法規制: 第一種住居地域  
(建蔽率60%、容積率200%)